

高浜版総合戦略

《計画期間》
平成27年度～31年度（5年間）

総合戦略は、人口ビジョンをふまえ、市民と行政がいつしよになつて描いた「第6次高浜市総合計画」をベースに、人口減少への対応や地域経済の活性化に向けた5か年の創生戦略で、本市の特色や地域資源をいかし将来にわたって「住みたいまち」「住み続けたいまち」となるための施策をまとめたものです。



5つの創生戦略

創生戦略① しあわせづくり計画で、一人ひとりの想いが実現できるまち

まちへの愛着を高め、この「まち」にいつまでも住み続けたい、という想いを育てていきます。

創生戦略② 高浜版ネウボラで、妊娠期から子育て期まで、子育てを応援するまち

結婚・出産・子育てに希望を持ち、理想を実現できるよう、地域ぐるみで子育てを支援します。

創生戦略③ 教育基本構想で、将来への希望に満ち溢れた子どもを育てるまち

高浜市らしい魅力ある「教育」で、将来の高浜市を担う「ひと」を育てます。

創生戦略④ 地域資源を活かし、産業が活性化するまち

進出意欲を持つ企業の希望の実現、地域資源の発掘などによる魅力ある地域産業づくり、起業者の意欲向上や創業支援などに取り組みます。

創生戦略⑤ 生涯現役でいられるまち

高齢者がいつまでも健康で、いきいきと意欲的に活躍できる、生涯現役のまちづくりを推進します。

成果目標

高浜版総合戦略では、2つの指標を成果目標として設定します。

①産み育てやすいを実現	②住みたい・住み続けたいを実現
2020年（平成32年）以降の合計特殊出生率1.87を達成するため、まずは近年減少傾向である出生数を増加させる。《出生数：年間500人（平成26年の実績466人）》	平成24～26年の3か年において転出超過となっている年齢層「0歳～9歳」および「25歳～39歳」の年代の転出超過を抑制し、均衡を保つ。

高浜らしい創生の
キャッチフレーズ

カワラで
つながる
ミライ

	意見の対象箇所	意見(概要)	意見に対する行政の考え方	対応結果
1	高浜市人口ビジョン P12	直近の流動(H24～H26)で、転入時が単身で、転出時は配偶者などとともに、という理由・要因が分析されていない。 若い世代の人は単身で転入し、そのまま転出していく理由も明確にすべきではないか。	ご意見のとおり、さらなる理由・要因分析は必要と考えています。窓口アンケートをすでに実施していますが、サンプル数が少ないため、今後は、転入・転出者を対象とした転入・転出理由に関するアンケート調査のサンプル対象を増やして実施するなど、さらに詳細な分析に取り組んでいきます。	② 原案どおり
2	高浜版総合戦略全体	いろいろと提案されているが、どうも基準がはっきりせず、せつかくの提案が他人ごとのように聞こえる。 基準を、例えば「税収」としたらどうか。	ご意見のとおり、計画の実現には財政的な裏づけは必要であり、実現に向けた財源の確保も重要であると考えています。 しかし、税収が増加したから高浜市に住みたい人・住み続けたい人が増えるということには、かならずしもつながらず、高浜版総合戦略がめざすところである「①生産年齢人口の維持・増加」「②結婚・出産・子育ての希望の実現」「③超高齢社会など一歩先の時代を見据えた地域の構築」の達成度合いをわかりやすく計る指標としては、素案P10に掲げる2つの指標を総合戦略全体の成果目標としていきたいと考えています。	② 原案どおり

※人口ビジョン・総合戦略およびパブリックコメントの結果について、詳しくは市公式ホームページを参照